

羽幌町役場地球温暖化対策実行計画の点検・評価について

羽幌町役場は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、平成21年度に策定した「羽幌町役場地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいます。

上記計画第4章2に基づき点検を実施し、平成19年度（基準年度）と平成24年度の温室効果ガス排出量（CO₂）を比較したところ次のとおりの結果となりました。

1 結果

	19年度(基準年度)	24年度実績	削減量	削減率
CO ₂ 排出量	2,802,096.9	2,621,419.6	△ 180,677.3	-6.45%

温室効果ガス排出量（CO₂）は基準年度と比較し、6.45%の減となりました。

2 点検

(1) 温室効果ガス別点検

【温室効果ガス別CO₂排出量表】

	(平成19年度)		(平成24年度)		削減実績量		削減率
	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	
ガソリン	16,587 ㍓	38,481.8	18,510 ㍓	42,942.0	1,923 ㍓	4,460.2	11.59%
軽油	15,128 ㍓	39,635.4	13,090 ㍓	34,295.8	△ 2,038 ㍓	△ 5,339.6	-13.47%
灯油	202,669 ㍓	504,645.8	235,308 ㍓	585,916.9	32,639 ㍓	81,271.1	16.10%
A重油	161,700 ㍓	438,207.0	108,700 ㍓	294,577.0	△ 53,000 ㍓	△ 143,630.0	-32.78%
LPガス	2,148.4 m ³	13,728.3	1,688 m ³	10,786.3	△ 460.4 m ³	△ 2,942.0	-21.43%
電気	3,184,502 Kwh	1,767,398.6	2,978,201 Kwh	1,652,901.6	△ 206,301 Kwh	△ 114,497.1	-6.48%
合計		2,802,096.9		2,621,419.6		△ 180,677.3	-6.45%

軽油、A重油、LPガス、電気は様々な取り組みにより減少しています。

特に、重油及び電気については施設暖房設備更新に伴う使用燃料の変更によるもののほか、平成24年度夏季・冬季節電計画に基づく庁舎内の適切な温度管理及び節電に努めた効果が表れています。

ガソリンは、公用車更新に伴う使用燃料の変更や公用車使用量の増により増加しています。

灯油は学校等において厳冬の影響による暖房使用量の増加や、公共施設の暖房設備更新に伴う使用燃料の変更により大幅に増加しています。

(2) 課別点検

【課別CO₂排出量表】

	(平成19年度)	(平成24年度)	削減実績量	削減率
	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	
総務課	259,008.8	253,628.6	△ 5,380.2	-2.08%
財務課	1,872.2	0.0	△ 1,872.2	-100.00%
町民課	444,009.0	428,473.2	△ 15,535.8	-3.50%
福祉課	141,860.9	126,757.3	△ 15,103.6	-10.65%
建設水道課	707,151.1	662,185.2	△ 44,965.9	-6.36%
産業課 (農林水産課+商工観光課)	122,793.2	80,456.5	△ 42,336.7	-34.48%
学校管理課	762,787.2	754,281.1	△ 8,506.1	-1.12%
社会教育課	325,034.6	276,103.3	△ 48,931.3	-15.05%
天売支所	20,320.6	23,637.0	3,316.4	16.32%
焼尻支所	17,259.3	15,897.4	△ 1,361.9	-7.89%
合計	2,802,096.9	2,621,419.6	△ 180,677.3	-6.45%

平成19年度と比べ、全体的に削減することができています。

特に、平成24年度夏季・冬季節電計画に対する、住民皆様のご理解・ご協力と職員の自助努力による節電成果が大きく表れております。

3 評価

平成24年度の温室効果ガス排出量は基準年度（平成19年度）対比で6.45%削減することができました。

全国的な電力不足に対応する必要性もあり、主に照明や燃料の節約など職員の自助努力で可能な取組の徹底により、大幅に削減することができました。

今後も各課管理施設への周知協力を徹底し、目標達成に向けて努力していきます。